

レモンタイム | Lemon Time



呼吸器化学療法カンファレンスチーム（呼吸器内科医師・呼吸器外科医師・外来看護師・病棟看護師・薬剤師・栄養士・医療秘書・MSW・MEにて構成）の中で、「肺がんの患者さん家族の方の憩いの場、安らぎの場の提供をしたい＝肺がんサロンを開設したい」という思いで、肺がんサロン「レモンタイム」を26年11月に開設し今回が3回目になります。

今回は18名の患者さん及び家族の参加で、季節に合わせたお茶菓子として水羊羹とお茶を飲みながら、七夕の飾り付けをしてゆったりとした時間を過ごしました。「七夕飾り楽しかったです」「楽しい時間でした。」「参加する気持ちも余りなかったのですが、どれくらい患者さんが参加されるのか、どのような話がされるのか興味があり参加しました。とても静かな、ゆったりとした雰囲気、おもてなしの心が嬉しく思いました。」という意見を頂きました。

このような意見を励みにして、肺がんサロンが、ほんのレモンの香りが漂うような、心安らぐ場所になりますように、年4回の開催に向けても頑張っていきたいと思えます。第4回は9月26日薬剤師の話を検討しております。第5回は12月19日予定です。肺がんサロンについてのお尋ねは、外来看護師の藤本までお願いします。

「ローソン」大牟田天領病院店 オープン!!



8月3日月にローソンがオープンしました。

営業時間：月曜～金曜 7時～21時
土曜・日曜・祝日 7時～20時

お・知・ら・せ

第13回 社会保険大牟田天領病院院内学術集会の開催について

日 時：平成27年11月28日 日 12:30～17:05
場 所：福祉センター2階 多目的ホール
内 容：一般演題発表 15題（予定）
特別講演「がん免疫療法について」

国立研究開発法人 国立がん研究センター
先端医療開発センター 免疫療法開発分野 分野長 中面哲也 先生

編集 後記



8月8日が「立秋」ですので、暦の上ではもう秋ですが、実際の気温から感じる季節感は夏真っ盛りという感じです。これは、旧暦が太陰太陽歴だからだそうです。俳句における「季語」も旧暦における春夏秋冬ですから、「薔薇」が夏の季語で「あさがお」が秋の季語というのも変な気がします。結局、9月中旬ごろまで暑いのですから、あと1か月くらい体調を整えて頑張りましょう。<朝がほやー輪深き淵のいろ 蕪村> ペンネーム トモシー

交通アクセス

- JR鹿児島本線大牟田駅下車・・・徒歩20分
- 西鉄天神大牟田線大牟田駅下車・・・徒歩20分
- 九州自動車道南関ICより自動車で・・・25分
- 西鉄バス大牟田駅前バス乗車
天領校前下車（行先番号2番）・・・下車徒歩3分
天領町1丁目下車（行先番号4番）・・・下車徒歩0分



一般財団法人 福岡県社会保険医療協会
社会保険 大牟田天領病院
発行：地域医療連携室 広報委員会

- 診療受付時間 月曜～金曜日 / 8:30～11:30 (診療開始 8:45～)
13:00～16:30 (診療開始 14:00～)
土曜日 / 8:30～11:00 (診療開始 8:45～)
- 休診日 日曜日、祝祭日、年末年始 (12 / 30～1 / 3)
- 面会時間 平日・土日祝祭日 10時～20時まで



当院に対してご希望やご意見がございましたら、職員にお気軽にお申し付けください。また、ご意見箱も是非ご利用ください。

〒836-8566 福岡県大牟田市天領町1丁目100番地
TEL 0944-54-8482 FAX 0944-52-2351
電子メール: somu@omutatenryo-hp.jp ホームページ: http://omutatenryo-hp.jp/

天領医療連携だより

Ohmuta Tenryo Hospital 2015.08



医療理念

- 一、患者中心の医療
- 二、医療の質の向上
- 三、地域社会にあった手づくりの医療
- 四、安心と信頼を持たれる病院づくり

基本方針

- 一、地域の病院、診療所および介護施設と連携し、急性期医療を担当する中核病院として地域医療に貢献する。
- 二、患者さんに安心とつろぎを与える医療と介護を提供する。
- 三、医療水準向上のため職員の教育および臨床研修を充実する。
- 四、経営基盤を安定させる。

感染制御部について | News

感染制御部は、患者さん、見舞客、職員などすべての人々へ感染症の危険を及ぼさない安全な医療を提供することを目的としています。

活動としては、院内における院内感染対策に関する意志決定機関として、病院長を委員長とする院内感染対策委員会を設置し、毎月1回の定例会議の開催を行い院内感染探索の策定と推進をおこなっています。この委員会には、感染管理医師、感染管理認定看護師、専任薬剤師、臨床検査技師を含む感染対策チームがあり、月1回の院内ラウンド等の感染対策の実務を担当しています。

発生時の報告体制については、院内感染対策委員会に報告後、院長、副院長、各科部長、主治医、看護部、当該看護師長、リンクナースに報告します。発生時の基本方針については、発生状況を分析し、職員に対して発生動向に合わせた具体的対策を周知し、感染の拡大を予防します。

また、職員の感染対策に関する意識向上のため年2回以上の研修会や、地域の医療機関と連携して定期的な院内感染対策に関する合同会議を行い、地域の感染対策の向上に努めています。

詳細につきましては、ホームページのホーム>診療科・部門案内>感染制御部をご覧ください。感染管理認定看護師にお尋ねください。



おおむた「大蛇山」まつり～1万人の総踊りに参加～ | News

7月25日、市民による1万人の総踊りに参加しました。今年の総踊り出場団体は47で、「炭坑節」や「大蛇山ばやし」の曲に合わせ、約2キロにわたり列をなしての踊りを繰り上げました。



学会発表、講師派遣等の実績紹介

福岡県理学療法士会 筑後2地区研修会

[平成27年5月13日、大牟田天領病院 福祉センター]

講義：「**装具について～脳卒中と脊椎圧迫骨折を中心に～**」

リハビリテーション科 主任 理学療法士 平山史朗

理学療法士にとって装具との馴染みが深い代表的な疾患を取り上げて、装具の役割、種類及び病態に応じた選定や調整の方法などについて講義し、当院で考案した装具や取り組みなども紹介した。

第50回日本理学療法学会

[平成27年6月5日～7日、東京国際フォーラム]

一般演題発表：「**脳卒中発症後、早期に使用する治療用短下肢装具の考案**」

リハビリテーション科 主任 理学療法士 平山史朗

二方向調節式足継手付のプラスチック短下肢装具にゴムバンドで足部の背屈補助機能を付加した装具を考案した。脳卒中発症後、早期のリハビリテーションに用いられる装具は足部を単に固定するものが多いが、この装具は麻痺の病態変化に応じて足部の動きを補助できるので有意義である。症例を通してその有用性について報告した。



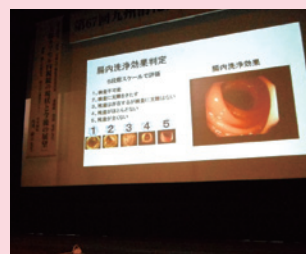
第67回九州消化器内視鏡技師会九州支部例会

[平成27年6月20日、長崎大学]

一般演題発表：「**大腸内視鏡検査の前処置における患者の負担軽減を試みて**」

看護部 看護師 木下美智子

前処置として腸内洗浄液ニフレック® 2000mlを2時間かけて飲むことが、「飲む量が多く辛い」という患者さんの声を切っ掛けに新しい腸内洗浄液モビプレップ® 1000ml+水orお茶500mlに変更した。そして、その洗浄効果や患者アンケートを解析し、これまでと同等の効果があるという結果を報告した。



福岡県社会保険医療協会薬学集談会

[平成27年7月11日、第一三共株式会社]

発表：「**院外処方への移行に合わせた在庫管理について**」

薬剤部 主任 薬剤師 黒崎一博

平成26年度より当院の外来は院外処方となり、それに伴い薬品在庫の大幅な見直しが必要となった。その取組を、院外処方前後での処方箋枚数なども示しながら説明した。



◎「看護の日・看護週間」にちなんで…

5月12日は「看護の日」、5月11日～15日の5日間「看護週間」ということで、看護サービス委員会の委員と新人看護師、薬剤師、介護福祉士と一緒に外来で身長・体重・血圧・BMI・血糖測定、服薬指導、物忘れ相談を行いました。今回は、延べ300人の参加があり盛況に終了しました。



◎6月11日に消防訓練を行いました。

今回は、夜間帯に5病棟デイルームより出火の想定で行いました。訓練ではありますが、当直者や夜勤者で速やかな確認、患者誘導等を行いました。

消防訓練の実施は、管理権限者の義務や防火管理者の責務の中で消防計画を作成し、定期的に各訓練を実施しなければなりません。

次回は12月に行います。



◎グランドバレーボール開催



6月20日、看護部新人教育委員主催でグランドバレーボール大会を開催しました。参加者は、看護部に限らず、病院全職員を対象とし約80名と多くの参加がありました。グランドバレーとは、ラグビーボールの何倍もの大きさのボールを使い男女混合5人で行います。ルールはバレーボールと似ており、決められた回数でネット越しの相手チームに返して、点数を競います。バレーボール初心者でも経験者でも一緒に楽しめ、久しぶりに汗をかいてリフレッシュしました。みなさん、翌日は筋肉痛と戦った事でしょう！

◎各教室の紹介 | Information

天領じんぞう教室

◎時間：10：30～14：30

内容：腎臓病について、医療費と福祉制度、検査値の見方、食事療法、薬、日常生活のポイント等

日本人成人人口における慢性腎臓病患者は約1300万人と推計され、成人8人に1人が慢性腎臓病と考えられています。当院では、「天領じんぞう教室」を年に3回行っています。医師・看護師・薬剤師からは治療に関するお話、栄養士からは食事のお話、ソーシャルワーカーからは医療費・福祉の話、腎センタースタッフからは血液透析療法の話があります。また、ご希望の方は、腎臓食（500円）を試食することができます。次回は、10月19日です。



ご希望の方がいらっしゃいましたら、地域医療連携室にご連絡ください。